



# 群馬パース同窓会報

NO. 7

**P** Pessoa [ペーソン] 個性 **A** Assistencia [アシステンシア] 互助 **Z** Zelo [ゼロ] 熱意

## 11/1 総会・ステップアップセミナー開催



高山キャンパス模様替えしました。

流星祭  
同時開催

今年が高山キャンパス  
最後の流星祭になります！

10/31  
11/1

群馬パース同窓会 会長 池田 豊

(短大看護学科3期生)

お世話になります。同窓会会長の池田豊です。日頃より同窓会に  
対し温かいご支援を賜り誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。  
さて、同窓会会員の皆様にお知らせです。今秋開催される群馬パ  
ース大学流星祭は、高山キャンパスでの最後の文化祭になります。そ  
こで今回の流星祭は高山村への感謝祭も併せて開催されることにな  
りました。

同窓会としても流星祭と高山村感謝祭に是非参加し、感謝とお礼  
をしていきたいと考えています。私  
達同窓会会員は、あの高山村で過ご  
した学生生活の貴重な一ページが  
あったからこそ、今こうして多くの  
医療人として社会に出て貢献してい  
るところです。

十一月一日は同窓会総会やステッ  
プアップセミナー等も予定されてい  
ます。皆様お誘い合わせの上、多数  
のご出席をお待ちしています。  
ちしています。  
最後となります  
すが、卒業生の  
皆様の益々のご  
健勝とご活躍を  
心よりご祈念申  
し上げます。

群馬パース大学 流星祭 感謝祭  
第12回  
Changed Yes, we can!! ~ Thanks 高山 ~

10月31日(土)

- ★尻高人形劇
- ★軽音楽ライブ
- ★フットサル大会
- ★クイズ・早食い大会
- ★男装・女装コンテスト
- ★ビンゴ

11月01日(日)

- ★クイズ・早食い大会
- ★男装・女装コンテスト
- ★ビンゴ

★31日には感謝祭体験を実施します★

### ☆ 流星祭タイムスケジュール ☆

| 開催日   | 10月31日 (土)             |               |       | 11月1日 (日)       |         |
|-------|------------------------|---------------|-------|-----------------|---------|
|       | ステージ                   | 屋 内           | 体育館   | ステージ            | 屋 内     |
| 10:00 | 開 会 式<br>いぶき太鼓<br>(高山) | 教育懇談会         |       |                 |         |
| 11:00 | 軽音楽・ダンス                | ↓             |       | クイズ&早食い大会       | 同窓会総会   |
| 12:00 | ↓                      | ↓             |       | ナース服の似合う女の子No.1 |         |
| 13:00 | ↓                      |               |       | 女 装 ・ 男 装       | 同窓会セミナー |
| 14:00 | ↓                      | 尻高人形<br>(高山村) | フットサル | ↓               |         |
| 15:00 |                        | ↓             | ↓     | 表彰式・大ビンゴ大会      |         |
| 16:00 |                        | ↓             | ↓     | 後 片 付 け         |         |
| 17:00 |                        |               |       | 後 夜 祭           |         |

無料バスをご利用ください。

渋川駅発→高山キャンパス着

- ① 9:00→ 9:40
- ② 11:30→12:10
- ③ 13:40→14:20
- ④ 16:20→17:00

～ Dum Spiro Spero (人には生命ある限り希望がある) ～

団 体 名/群馬パース同窓会 役員/会長:池田 豊 副会長:入江 泉・小野 章夫 書記:小野寺 洋・井口 智  
名誉顧問/学長:小林 功 会計:寺嶋 摩耶・伊庭野志帆 庶務:田村 佳益・若松 孝志 監査:青柳 直樹・武井 直樹



## 教員紹介

老年保健学特別研究

伊藤 まゆみ

(群馬パース大学大学院)



人生の最終章の質を左右するのは看護の力です。高

齢者と家族が「死ねてよかったね」と言えるような看護のあり方を探求するのが老年保健学の目指すところです。

寝たきりや認知症など高齢者特有の健康問題から老年看護学はスタートしました。そして社会的なニーズの高まりのなかで、健康な高齢者のアンチ・エイジング看護、急性期から慢性期に至る疾病の看護、身体的治療を受ける認知症高齢者の看護、エンド・オブ・ライフケアまで大きな期待が寄せられています。老年保健学ではこれらの期待に応えるための研究課題に取り組んでいきます。

## 学友会主催 スポーツ大会が

# 開催されました！

### 高山キャンパス

六月六日(土)、学友会主催スポーツ大会が高山キャンパスで開催されました。今年も、恒例になりつつある保護者後援会の焼きそばが振る舞われたり、同窓生もバスケット部門に参加しました。年々盛大になっているスポーツ大会。楽しい一日を過ごしました。学友会の皆さん、ありがとうございます。来年は同窓生の皆さんも学生時代を思い出してスポーツしませんか!?

## Sports

同窓会代表  
バスケット優勝!



### 群馬パース大学大学院入試情報

平成22年度大学院入試日程

【A日程】

平成21年 9月 6日(日)

【B日程】

平成21年11月29日(日)

【C日程】

平成22年 2月21日(日)



6/22



9/17

## 群馬パース大学 新高崎キャンパス

平成22年4月完成予定



# 手術後 ICU 入室予定患者における、 入室前・後の心理状況の把握

(第 36 回日本集中治療医学会 本誌掲載)



群馬大学医学部附属病院 勤務

及 川 洋 (短大看護学科 1 期生)

## 抄 録

**【目的】** 手術後 ICU 入室予定患者の抱える心理状況には、不安や恐怖など多くの問題がある。現状の介入方法では、患者の入室前後の経時的な心理状態の変化の把握や、患者ニードへの対応が不十分であると感じられた。そこで当院 ICU 入室予定患者の入室前後の心理状況を把握し、オリエンテーションの有効性と改善点を把握することとした。

**【方法】** Lazarus らのストレス対処理論を概念枠組みとして、入室する患者の心理状態を分析する。測定用具として日本版 POMS 短縮版、矢田部・ギルフォード検査法を使用し、ストレスコーピングに対して独自性質問項目を作成して調査した。分析方法は統計ソフト SPSS を用いた。倫理的配慮として当大病院の倫理委員会承認を受けて実施した。

**【結果・考察】** 術式・性格分類・手術への受容の程度により、重症感・喪失感に伴うストレス・不安の強さの違いが得られた。ICU・病棟・手術室それぞれのスタッフの説明内容に相違が存在すると、患者に大きな戸惑いや不安を与えることになる。今後、患者のベッドサイドでのオリエンテーション改善に加え、医療者間での情報共有方法の工夫が必要であることが示唆された。

※パース同窓会用に一部割愛しております

## 本 文

### <背景・目的>

当院 ICU 看護師は、手術前日に術後入室予定の患者の病室へ訪問し、患者と家族に術前オリエンテーションを行う。しかし、前日に一度会うだけの患者の心理状態の把握は困難であり、求められるニードに対応するには不十分であると感じた。そこで ICU 入室予定患者の心理状態を把握することにより、より良い看護介入を見いだすことを目的として本研究を行った。

### <データ収集法>

データの収集には、入室前・後に、日本版 POMS 短縮版 (Profile of Mood State-Brief Form Japanese Version)、YG-8、独自の質問用紙を用いた。分析には統計ソフト SPSS を使用した。

YG-8 とは、表 1 の 8 項目の質問に、ハイカイイエで答えてもらうことで、対象者の性格型をストレス対処の上手な外向型か、その逆の内向型かに分類する項目である。

日本版 POMS 短縮版では、表 2 の 30 項目の質問に

### YG-8の質問項目(表1)

- ・一人ぼっちだと感じることはありませんか
- ・言いたいことは何でも言うほうですか
- ・いつも気持ちにゆとりがありますか
- ・劣等感を感じやすいですか
- ・何事にも積極的なほうですか
- ・感情を表面に出さないほうですか
- ・本当は何でもないことを必要以上に心配することがよくありますか
- ・色々な人と付き合うことが好きですか

「外向型」→ストレス対処が上手  
「内向型」→ “ ” が苦手



答えてもらうことで、緊張・抑うつ等の6つの気分尺度を同時に評価できる。

活気以外の項目は、得点が高いほど、病的な状態である。活気だけは得点が高いほど、活気の溢れる健康的な状態であることを示す。

### <対象者の背景>

有効症例数は13名。表3参照。

### <結果：YG-8とPOMS関連グラフ>

表4の折れ線グラフは、YG-8による性格分類と、POMSとの関連を示している。

「ストレス対処の上手な外向型」の入室前と退室後のPOMS得点を、入室前が黄色、退室後は緑色で表示している。ICU退室後は、各項目の得点が軽度上昇しているのみで平坦で安定している。

次に「ストレス対処が苦手な内向型」の入室前を赤線で示している。不安・抑うつ・混乱が高い値を示し、活気はかなり低く活動性低下として評価できる。そしてICU退室後は、混乱状態がやや高い値にある以外は、外向型との差がほとんど無くなった。

### <考察>

性格型によって、患者の気分には明らかな相違が見られている。先行研究によれば、術後ICUへ入室する患者の多くは、ICUという言葉だけで強い重症感を抱くと言われている。ありきたりの対応ではなく、個別性を重視した集中的な精神的援助も必要と考えられる。

### <結論>

今回の研究により以下の必要性が得られた。

- ①患者の特性を把握した上で、個別性を十分考慮し関わっていく。
- ②他部門同士が一つのチームとして、一貫して患者に関われるよう今後の方向性を話し合う。

### <今後の課題>

- ①退室後の患者状態が不良な場合があり、有効症例数が集まらなかった。
- ②ビデオやDVDによるオリエンテーションを希望する声がある。

今後も調査を継続し、より正確に患者の意見を反映できるようにしていきたいと考えている。

### POMS短縮版の質問項目(表2)

- ・ 気がはりつめる
- ・ 怒る
- ・ ぐったりする
- ・ 生き生きする
- ・ 頭が混乱する
- ・ 落ち着かない
- ・ 悲しい
- ・ 積極的な気分だ
- ・ ふきげんだ
- ・ 不安だ
- ・ 疲れた
- ・ 活気がわいてくる
- ・ どうも忘れっぽい
- ・ 元気がいっぱいだ
- ・ 物事ができばきできる気がする
- ・ 孤独でさびしい
- ・ 考えがまとまらない
- ・ へとへとだ
- ・ あれこれ心配だ
- ・ 緊張する
- ・ とぼろに暮れる
- ・ うんざりだ
- ・ だるい
- ・ 気持ちが悪くて暗い
- ・ あれこれ心配だ
- ・ 精力がみなぎる
- ・ 自分はほめられるに値しないと感じる
- ・ 遠慮をかけられて困る
- ・ がっかりしてやる気をなくす
- ・ はげしい怒りを感じる

6つの気分尺度—緊張(不安)・抑うつ・怒り・疲労・混乱・活気

### 対象者の背景(表3)

n=13

平均年齢: 65歳±7.5

性別: 男性 8人、女性 5人

平均在室日数: 3.9日±1.1

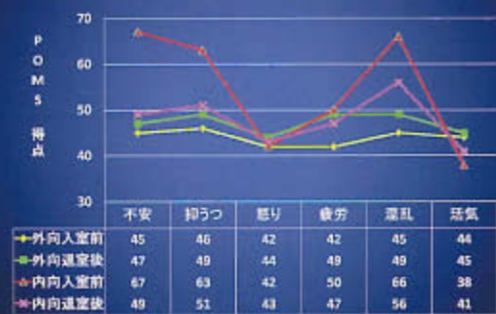
診療科: 循環器外科 5人、消化器外科 3人

耳鼻咽喉科 4人、泌尿器科 1人

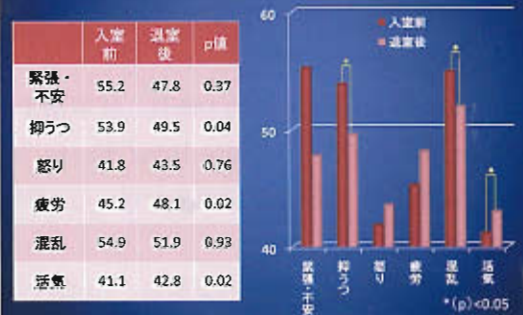
性格型: 内向型 6人

外向型 7人

### YG-8・POMS得点との関連 外向型・内向型の術前後の比較(表4)



### 症例全体のPOMS平均得点 入室前後の比較



# 地域在住中高年者におけるサービスに対する 満足度と心身機能、活動の関係

*Relationship between satisfaction of service and body functions,  
activity in Community Dwelling Elderly People*

こすもすクリニック通所リハビリテーション 勤務

赤池 優 (短大理学療法学科 2 期生)

共同研究者 / 加藤 仁志

(群馬パース大学保健科学部理学療法学科 勤務)



【キーワード】 満足度 デイケア 地域在住中高年者

## 【目的】

通所リハビリテーション（以下、デイケア）においては、利用者が有する最大限の能力を発揮し居宅での日常生活を営む為に、多職種が関わりチームとなって包括的にアプローチをしていくことが大切である。デイケアの利用者の多くは維持期リハビリテーションの対象者であり、心身機能や活動能力の維持、向上だけでなく、QOL (Quality Of Life) の向上や閉じこもり防止なども利用の目的とされているのが現状である。そのため、デイケア利用者の評価において、心身機能や活動能力などの客観的な指標だけでなく、主観的な指標の評価も重要である。また、サービスを提供する事業所としては、利用者の生活様式が多様化する中で、サービスを見直すひとつの指標として、主観的な指標の評価を実施することは重要である。

介護保険利用者の満足度に関する研究は様々な形で報告されている。利用者の家族に対して満足度を調査した研究やサービスを利用している本人に対して満足度を調査した研究など、満足度そのものの調査報告や満足度と関連する要因に関する報告がなされている。近年、満足度と心身機能、活動との関連を明らかにする研究もみられているがまだ少なく、サービスに対する満足度と心身機能、活動の関係は十分に明らかになっていない。そこで、本研究ではデイケアを利用する地域在住高年者を対象に、サービスに対する満足度と心身機能・活動の関係を明らかにすることを目的とした。

## 【方法】

対象は研究に同意の得られたデイケアを利用する地域在住中高年者 30 名（男性 10 名，女性 20 名，年齢  $76.0 \pm 8.2$  歳 (59-91 歳)，身長  $148.1 \pm 9.4$ cm，体重  $53.4 \pm 9.3$ kg，BMI  $24.4 \pm 4.6$ ) であった (表 1)。要介護度は、要支援 1: 2 名，要支援 2: 4 名，要介護 1: 10 名，要介護 2: 9 名，要介護 3: 4 名，要介護 4: 3 名であった。介護認定の原因疾患は、脳血管障害: 22 名，関節疾患: 6 名，骨折: 5 名，その他の整形疾患: 4 名，パーキンソン病: 2 名，脊髄損傷: 1 名，肺気腫: 2 名，認知症: 2 名，その他: 1 名であった (重複あり)。

すべての対象者に対して、事前に研究の趣旨と対象者自身の意思でいつでも参加中止できることを書面及び

表 1 対象者の背景

|                          | n = 30                 |
|--------------------------|------------------------|
| 年齢 (歳)                   | 76.0 ± 8.2 (59 - 91 歳) |
| 身長 (cm)                  | 148.1 ± 9.4            |
| 体重 (kg)                  | 53.4 ± 9.3             |
| BMI (kg/m <sup>2</sup> ) | 24.4 ± 4.6             |

口頭で説明し、同意書に対象者本人が署名することで同意を得た。なお、本研究は群馬パース大学の倫理委員会の承認を受けて実施した。

調査項目はサービスに対する満足度、握力、等尺性膝伸展筋力、Functional Reach Test (以下、FR)、Timed Up & Go Test (以下、TUG)、Barthel Index (以下、BI)、老研式活動能力指標 (以下、TMIG)、Fall Efficacy Scale (以下、FES)、痛みの有無とした。

サービスに対する満足度について5を最大値とする5段階にて評価し、3以下を満足下位群、4以上を満足上位群と定義し調査項目を2群間で比較した。

統計解析には Mann-Whitney の U 検定、カイ二乗検定を用い、有意水準は5%とした。

## 【結果】

握力は  $19.3 \pm 9.3\text{kg}$ 、膝伸展筋力は  $0.9 \pm 0.4\text{Nm/kg}$ 、TUG は  $28.7 \pm 23.9\text{sec}$ 、FR は  $19.6 \pm 9.4\text{cm}$ 、TMIG は  $5.9 \pm 3.3$  点、FES は  $24.8 \pm 6.6$  点、BI は  $77.7 \pm 20.3$  点であった。また痛みの有するものは23名、無いものは7名であった (表2)。サービスに対する満足度は、1～2は0名、3は11名、4は15名、5は4名であった。満足下位群11名、満足上位群19名に分け、2群間で調査項目を比較した結果、すべての項目について有意差は認められなかった (表3)。

表2 全対象者の結果

|               |                              |
|---------------|------------------------------|
| 握力 (kg)       | $19.3 \pm 9.3$               |
| 膝伸展筋力 (Nm/kg) | $0.9 \pm 0.4$                |
| FR (cm)       | $19.6 \pm 9.4$               |
| TUG (秒)       | $28.7 \pm 23.9$              |
| BI (点)        | $77.7 \pm 20.3$              |
| TMIG (点)      | $5.9 \pm 3.3$                |
| FES (点)       | $24.8 \pm 6.6$               |
| 痛み (人)        | 有 : 23 (76.7%) 無 : 7 (23.3%) |

表3 満足上位群と満足下位群との比較

|               | 満足上位群<br>(n=19)              | 満足下位群<br>(n=11)          |      |
|---------------|------------------------------|--------------------------|------|
| 握力 (kg)       | $21.8 \pm 9.9$               | $15.0 \pm 6.6$           | n.s. |
| 膝伸展筋力 (Nm/kg) | $1.0 \pm 0.4$                | $0.7 \pm 0.2$            | n.s. |
| FR (cm)       | $20.3 \pm 10.8$              | $18.1 \pm 5.8$           | n.s. |
| TUG (秒)       | $30.2 \pm 28.1$              | $25.8 \pm 12.5$          | n.s. |
| BI (点)        | $78.7 \pm 21.2$              | $75.9 \pm 19.6$          | n.s. |
| TMIG (点)      | $5.4 \pm 3.3$                | $6.7 \pm 3.3$            | n.s. |
| FES (点)       | $26.2 \pm 5.5$               | $22.5 \pm 7.8$           | n.s. |
| 痛み (人)        | 有 : 15 (78.9%) 無 : 4 (21.1%) | 有 : 11 (100%) 無 : 0 (0%) | n.s. |

n.s. : not significant

## 【考察】

本研究において、サービスに対する満足度と心身機能・活動との関係は認められなかった。自宅と施設内の移動自立度が異なるデイケア利用者を対象とした満足度の調査の結果、移動自立度と満足度の間には有意差が認められないと報告があり、本研究も同様の結果を示した。サービスは利用者の期待以上であれば、よ



り満足に感じるといわれており、心身機能、活動の状態に関わらず期待に添ったサービスを得られていると感じている者は満足度が高かったと考えられる。利用者満足度はケア会議の開催、ケア会議への利用者の参加、利用者によるケアプランの確認において有意な関連があったとの報告やサービスの質に関する満足度、サービスの量に関する満足度、およびケアプランに関する満足度の間では相互に関係が認められるとの報告、介護保険サービスを利用している高齢者の生活満足度はケアマネージャーからの説明やケアプランに対する満足度と有意な関連があるとの報告があることから、利用者がどのような期待をしているかを把握し、それを反映したケアプランの作成、サービス提供が重要であると考えられる。またそのためにはデイケアに関する他職種の多角的な評価が必要であると考えられた。

デイケアでは、利用者のほとんどが維持期リハビリテーションの対象者であり、身体機能、活動の維持、向上の面を重視するだけでなく、精神面からの支援も必要であり、また閉じこもりの防止のため、通所することそのものが目的である利用者もいる。したがって、デイケア利用者に対して、心身機能、活動とともに利用者の主観的な評価である満足度も含めた多角的な評価の重要性が示唆された。

また、サービスに対する満足度を向上するためには心身機能・活動に対するアプローチだけでは困難であり、デイケアに関わる他職種による包括的なアプローチが必要であると考えられ、介入研究によりサービスに対する満足度を向上することができるアプローチの検証が今後の課題であると考えられた。

結論として、デイケアを利用している地域在住中高年者のサービスに対する満足度は心身機能、活動とは関連がなく、心身機能、活動とともに満足度のような主観的な指標も含めた多角的な評価の重要性が示唆された。

群馬パース同窓会事務局では、同窓会員の皆様の現場報告や研究発表・セミナー等で会員同士が刺激し合い、お互いがステップアップし親睦を深めることを目標の一つにしています。皆様に会報原稿やセミナー発表等で依頼することもあると思いますが、ご協力お願いします。

## 硬式野球部誕生！

平成二十一年、医療系の大学には珍しい硬式野球部が誕生し、関東甲新学生野球連盟に所属することになりました。春季リーグ戦から既に出場していて、二勝八敗、五位という結果でした。現在は授業や実習のない時間に秋季リーグ戦に向け部員一丸となって上位目指し頑張っているところです。

目的は人間形成、目標はリーグ戦で勝つこと、最後まで諦めないことをスローガンにしています。

ユニホームの襟にもパースグループの理念である  
 『Dum Spiro Spero』  
 (人には生命ある限り希望がある)が刺繍されています。





## 同窓生懇親会 【群馬大学医学部附属病院】

平成21年6月2日(火)、群馬県前橋市にあるイタリアンカフェレストラン『イルクオーレ』にて、群馬大学医学部附属病院で働く本学同窓生の懇親会が行われました。会のなかで、現在本学大学院生として研究活動も続けている及川 洋さん(短期大学第1期生)からメッセージがありました。



### Message

群馬パース同窓会は、同窓生の卒業後の教育の充実やお互いのステップアップ、親睦を深めることを目標の一つにしています。また保健医療の担い手となる後輩たち、高校生に夢を持たせたいと考えています。

そこで、ともに群馬大学医学部附属病院で働く同窓生に、同窓会活動にも精力的にお手伝い頂きたく懇親会を開催しました。

今後は総会を経て支部会を立ち上げて行きたいと思います。皆さん、ご協力お願い致します。

### 同窓会事務局からのお知らせ

同窓会事務局では、

1. 会員の住所管理
2. 同窓会報の作成・発行
3. 同窓会ホームページの管理
4. 資金管理
5. 総会、懇親会の運営

等の業務を行っています。

これらの業務に関連して、次の方は事務局にご連絡ください。

1. 住所・氏名・職場に変更があった方
2. 同窓会報に寄稿したい方
3. 支部会を組織したい方

#### 連絡先

〒370-0044 群馬県高崎市岩押町 5-4  
 群馬パース同窓会事務局  
 担当 衣川 隆  
 TEL027-310-7766 FAX027-310-7767  
 E-mail kinugawa@paz.ac.jp

平成21年9月18日発行

|     |                     |                |
|-----|---------------------|----------------|
| 10月 | 群馬パース大学 流星祭(案)      | 平成21年度 同窓会行事予定 |
| 9月  | 役員会議                |                |
| 8月  | 役員会議・支部会設立会議        |                |
| 6月  | 群馬パース大学 スポーツ大会参加(案) |                |
| 5月  | 役員会議                |                |
| 4月  | 群馬パース大学 大学院入学式      |                |
| 3月  | 支部会設立会議(案)          |                |
| 1月  | 役員新年会(沼田、同窓会事務局)    |                |